

キャラクター名
明流実 明美(あかるみ あけみ)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	一般生徒(高等部)	カヴァー	正体不明
	モルフェウス			年齢	15	性別
オプション	覚醒	生誕	衝動	吸血	初期侵食率	34 %
出自	資産家	経験	人助け	邂逅	後輩	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	1	0			3	行動値	9
感覚	4		0			4	(非装備時)	9
精神	0	1	0			1	戦闘移動	14
社会	2		0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:	2		芸術:			知識:	1		情報:アカデミア	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
カジュアル	
サーチレーダー	
モバイルPC	
Aランク:サポーター	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
両親	P 尊敬	N 恐怖		
久留間博士	P 感服	N 劣等感		
夜明 咲空	P 友情	N 劣等感		
夏震 恵理花(かすみ えりか)	P 友情	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヴィークルモーフィング	5	2	マイナ	至近	自信	自動	-	
効果: 乗り物を作る。わりとカタチ自由								
砂の加護	5	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 判定直前。ダメージをLv+1 ラウンド1回								
目潰しの砂	5	3	オート	10m	単体	自動	-	
効果: 判定直前。ダメージを-Lv+1 ラウンド1回								
サイコメトリー	1	1	メジャー	-	-	-	-	
効果: 情報判定にダメージをLv+2								
仮初の器	3	2	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果: 対象が次に行うメジャーアクションダメージ+Lv+1								
成分分析	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: コシ構造分析は...得意だと自負してます...								
万能器具	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 一人でいても日用品に困ることはありません								
壁抜け	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 壁を抜ければ人と会うこともないので...								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

彼女を見たものはみなこう証言する。「デカくてゴツかった」と□□
 彼女は普段、自らが作り出した機体に乗って生活をしている。推定2m、ガタイもかなり良いので、目撃したほとんどの人間が「いやーあの中身はかなりデカだよ」と発言している。一部では「いや、あの中にちっさい人間がいたら良くね?」と噂している層もあるらしい。
 実際は15歳、140cmの少女がその中に存在している。
 彼女は極度の恥ずかしがり屋、人見知りであるため、人前に出ることを苦手としていた。
 幸いにもモルフェウス、更にモーフィングに長けた才があったので、今のような生活をしている。

しかし、彼女もそれを克服したいと思っているのか、ここに来てから人助けをすることが多くなった。
 学区の使われていない場所を占領して事務所とし、SNSや直接来る依頼を解決している。
 依頼人は最初こそ彼女の風貌に驚くが、応対してみると、人を氣遣う才能があるのか、わりと好印象を持たれているようだ。
 活動時の名前はそのまま、『明流実』を使用している。

だが、どうしても外に出ないといけなない機会はあるもの。
 そんな時は小一時間程使って決意を固め、機体の外に出る。
 彼女の本来の姿を知るものはほとんどいないため、正体に氣づかれることなく任務を遂行できる...かもしれない。

「はっ、はい! 今回の依頼は運搬ですね! 頑張りますっ!!!」
 「この中にいる時は落ち着く...。人の視線を気にしなくて良いし... 快適だし...」
 「う...ううう...。なんで外に出なきゃいけないの〜...。でもちゃんとやらなきゃ...。でも嫌だよおおお...」